



フロアトップ® #5000

コンクリート床用

屋内外用

半つや

フロアトップ #5000 は、長年にわたり親しまれている一液油性 (溶剤) 型アクリル塗料です。手軽にコンクリートの表面を保護し、ホコリの発生を防止します。一般防じん用塗料として幅広い床面に使用されています。

半世紀の
実績

Since 1968

特長

1. 手軽に塗れる

一液油性 (溶剤) タイプのため手軽にはけ・ローラーだけで塗装ができます。

2. 乾燥が速い

乾燥性に優れるため、約2時間で歩行開放ができます。(気温 23℃・湿度 50%)

3. 落ち着いた半つや仕上げ

やわらかな感触 (風合) の半つやタイプのため、やわらかな風合いの落ち着いた雰囲気仕上がりです。

4. お好みの色に仕上げる

お客様のお好みに応じた色に調色*が可能です。
※調色については、事前にお問い合わせください。

用途

各種工場、倉庫、事務所等の屋内外コンクリート面の床用塗料

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】フロアトップ #5000

15kg : 石油缶
3.5kg : 4L 丸缶 (受注生産)

#800 プライマー (下塗り)

16 kgセット : 主剤 8 kg / 石油缶、硬化剤 8 kg / 半缶
6 kgセット : 主剤 3 kg / 半缶、硬化剤 3 kg / 半缶

【塗り面積】

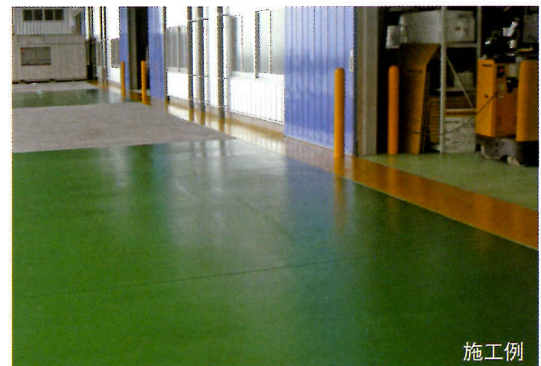
コーティング工法	43~50 m ² (15kg)、10~12 m ² (3.5kg)
コーティング防滑工法	34~38 m ² (15kg)、8~9 m ² (3.5kg)

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

【標準色】13色 (調色も承ります)

#9 サマーグリーン	#10 ディープグリーン	#11 グリーン	#15 ライムグリーン	#21 アメリカングレー
#27 ナチュラルグレー	#31 スパニッシュブラウン	#40 ベージュ	#50 アイボリー	#60 スカイブルー
#80 ホワイト	#90 クリヤー (つや有り)	黄		

※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。
※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。
標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



施工例

塗装色は #10 ディープグリーン



(一社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	A03037
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

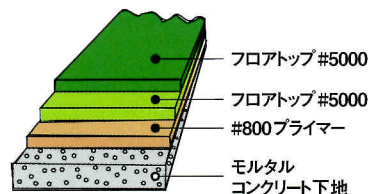
消防法 : 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・
火気厳禁

アトムクス株式会社

施工仕様例

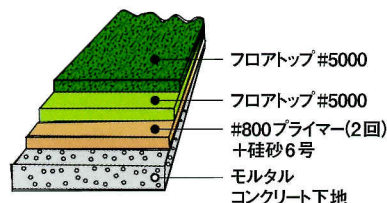
① コーティング工法※1

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (AMS-I)
下塗り	#800 プライマー	—	—	0.20	2~8	
上塗り①	#5000	合成シンナー No.20※2	30~40	0.20	2以上	
上塗り②	#5000	合成シンナー No.20※2	30~40	0.15	—	



② コーティング防滑工法※1

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング防滑工法 (AMN-I)
下塗り①	#800 プライマー	—	—	0.20	2~8	
下塗り②	#800 プライマー	—	—	0.16	直後	
骨材散布	珪砂6号	—	—	0.15~0.30	4以上	
上塗り①	#5000	合成シンナー No.20※2	30~40	0.24	2以上	
上塗り②	#5000	合成シンナー No.20※2	30~40	0.20	—	



※1 モルタル・コンクリート下地に塗装する場合は#800プライマーが必要になります。

・普通コンクリートで下地条件の良い場合は、フロアトップ#5000を合成シンナー No.20で約100%希釈してプライマー代わりに使用できます。

※2 合成シンナー No.20も希釈剤として使用できます。

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書をご参照ください。

注意事項

1. 塗装(施工) 前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工) 中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量、混合撹拌は、はかりおよび電動撹拌機を用いて行い、可使用時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に撹拌し、均一にした後に行ってください。
- 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- タンク内部の密閉場所で作業をする場合には、底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。

3. 塗装(施工) 後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間 歩行開放=2時間以上 重量物開放=12時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。

(ケット水分計 HI-520 で測定した場合の水分量が D モードで 700 以下、チャンネル 4 で 5% 以下を目安にする)

- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- 現場の立地条件等によって背面水圧の影響を受け、塗膜にフクレ等の不具合を生じる場合があります。
- 油面コンクリートは、下地の状態により処理方法が異なりますので、塗装仕様等につきましては、当社にお問い合わせください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります)
- 風化したコンクリート面、粉っぽいコンクリート面には#800プライマーを2回塗りしてください。
- コンクリート面をドライバー等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- #5000のクリヤーを使用する場合、下塗りの#800プライマーは経時で黄変します。屋外への施工にも適しておりません。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項および SDS (安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ5000



- | | | | |
|------------|------------------------------------|--------------------|--------------------|
| ■ 本社 | 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 | TEL (03) 3969-3111 | FAX (03) 3968-7300 |
| ■ 加須受注センター | 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) | TEL (0480) 65-1154 | FAX (0480) 65-6909 |
| ■ 大阪支店 | 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 | TEL (072) 872-3111 | FAX (072) 872-1222 |
| ■ 仙台営業所 | 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) | TEL (022) 249-7371 | FAX (022) 249-7372 |
| ■ 新潟営業所 | 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) | TEL (025) 244-8011 | FAX (025) 244-8012 |
| ■ 横浜営業所 | 〒224-0033 横浜市中区茅ヶ崎東3-17-43 | TEL (045) 943-8911 | FAX (045) 943-8912 |
| ■ 名古屋営業所 | 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) | TEL (052) 914-3900 | FAX (052) 916-0892 |
| ■ 広島営業所 | 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫妻ビル) | TEL (082) 845-2202 | FAX (082) 845-2203 |
| ■ 福岡営業所 | 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 | TEL (092) 503-5200 | FAX (092) 503-5308 |
| ■ 加須工場 | 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) | TEL (0480) 65-1159 | FAX (0480) 65-7146 |